

# 十和田市立 新渡戸記念館だより

## 新渡戸記念館ホームページを 大幅リニューアル!

平成7年に十和田商工会議所のご好意により、会議所内サーバーに当館ホームページを開設しましたが、その内容を12月から大幅にリニューアルします。今回はデザインだけでなく三本木原開拓や新渡戸稲造について詳しく説明する新コーナーを設けるなど、内容全体の充実を図っています。ぜひ一度当館ホームページをご利用下さい。

### トップページに動画を導入

リニューアル版のトップページには、上部に稲生川の流れや新渡戸稲造の肖像写真などが入れ替わる動画を採用し、ホームページを訪れた方が当館の内容についてイメージしやすいようにデザインしました。インデックスのボタン項目や配置についても内容を整理し、より分かりやすく使やすくなっています。

### さらに内容を充実

これまで、当館の活動状況のお知らせと簡単な展示案内を中心に構成し、三本木原開拓の歴史や新渡戸稲造の人物については簡単な事典にまとめて紹介する形にとどめていましたが、内容・項目ともに、より情報を増やし、「三本木原開拓の歴史」「新渡戸稲造」「新渡戸氏の歴史」についてはそれぞれインデックスボタンに独立した項目を設けて詳しく紹介しています。また、「展示物ご紹介」のページでは、これまで掲載の資料写真の画質を向上するとともに掲載資料数を増やし、展示をより詳しく紹介しています。



▲リニューアル後のトップページ

### 今後の更新課題

今後は子供用ページ、英語版ページについての更新を予定しています。また、データベースの検索機能も使いやすい形を検討中で、その他パンフレット等の無料配布資料のダウンロードサービスの充実、稲生川ライブ動画配信の導入など、より活用できるホームページへ改善していきたいと考えています。掲載情報の通常の更新も、これまで以上に迅速な対応を心がけていきますのでどうぞご期待下さい。

新渡戸記念館ホームページアドレス  
www.towada.or.jp/nitobe/

**2008年 元朝参りは太素塚へどうぞ!!** ★甘酒&お神酒サービスあり★  
12月31日(月)22:00~元旦(火)1:30



# 平成19年度 第2回太素顕彰会役員会に 稲生川上水150年記念イベント案を提出!

10月26日(金)午前10時から、十和田商工会議所において当館の運営母体である太素顕彰会の平成19年度第2回役員会を開催しました。太素顕彰会会長・石川正憲十和田商工会議所会頭が議長を務め、「稲生川上水150周年記念事業」計画について審議が行われ、原案通り承認されました。来年在稲生川上水150年の大きな節目にあたることから、5月3日～5日の稲生川上水記念・太素祭にあわせて「十和田市・三本木原開拓と新渡戸三代の歴史ガイドブック」の改訂版を発行することや、そのほか三つの記念イベントの開催案が提出され、イベントの開催については事務局および役員会の総会決議として十和田市に要望することで一致しました。記念イベントの内容については決定後お知らせします。



▲稲生川上水150年記念として改訂版が発行される「十和田市・三本木原開拓と新渡戸三代の歴史ガイドブック」

◆ 整然とした十和田市を見て、そして記念館を見学して納得した。昔の京都や現在の札幌にも匹敵する。先祖に先見の明を持った後代の人は幸せである。十和田市の益々の発展を祈ります。  
(平成18年7月23日 Sさん)

♥ 十和田市にこんなすばらしい記念館があるのには私は初めての見学です。感激です。たくさんの方に又県外の方にも伝えて、十和田市のことを多くの方々に知らせていきたい。(平成18年8月 十和田市民さん)

♥ 今日、新渡戸記念館に来て、稲造や傳について分かりました。二人とも一生を未来の日本のために捧げていったことが分かりました。傳たちが開拓しなければ今の十和田市がなかったかもしれないと思うと、不思議なようなありがたいような色々な気持ちでいっぱいです。今日は有り難うございました。  
(平成18年7月24日 ちとせ小学校5年生さん)

♣ 十和田市民の皆様は一度といわず何度でも訪ねていただきたい場所です。今の私たちの幸せな毎日、たくさんの方たちの苦勞とあきらめない努力のお蔭なんですね。新渡戸家の皆様、ありがとうございます。  
(平成18年9月22日 十和田市民さん)

## 平成18年～19年 館内感想ノートから 来館者からよせられた感想の 一部をご紹介します

♣ 大変よく整理されていて分かりやすく感動しました。子、孫たちも心に深く感じうれいします。又来たいと思います。素敵なビデオ有り難うございました。  
(平成18年8月10日 Nさん)

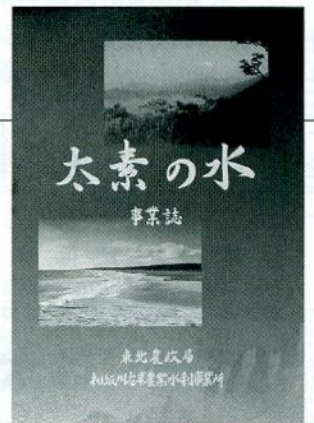
◆ 病院研修のため十和田市を訪れ、ここの記念館を見に来るきっかけとなりました。新渡戸傳といえば、小学校の社会科の教科書で三本木原開拓に努めた人物と記憶しておりますが、資料を見ていくと当時としては非常に壮大な計画だったように感じています。氏の偉業の詳細を知る事が出来十和田に来た事をうれしく思います。さらに、後世へ伝えていくようお願いいたします。  
(平成19年4月21日 青森県立保健大学理学療法学科生さん)

◆ 息子が十和田で学生生活をしており、4年目の今年家族で遊びに来ました。稲生川、三本木原開拓を行った新渡戸家のことを初めて知りました。新渡戸稲造の事は世間に良く知られていますが、その父、祖父の事は知りませんでした。十和田市は開放感のある町です。私の住む浜松市も天竜川改修に生涯を捧げた金原明善という偉人がおりますが、新渡戸傳さんもそんな人だったのかな。  
(平成19年8月14日 静岡県浜松市民さん)

♥ 新渡戸先生の記念館にようやく来ることが出来ました。先人は偉大。日本もこうした歴史を若い人に伝えるべきと痛感します。感謝。  
(平成19年10月27日 Oさん)

## 相坂川左岸農業水利事業誌「太素の水」発刊

稲生川の改修整備工事を行ってきた東北農政局相坂川左岸農業水利事業が本年3月に全業務を完了しましたが、その事業の全てをまとめた事業誌『太素の水』が刊行されました。昨年10月24日(水)の同事業完工式では、約150年前の稲生川掘削から国営による改修工事の歴史をたどる同名の写真集を参列者に配りましたが、今回の事業誌は写真集の内容に加えて、詳細な事業記録等を収録しています。





## アフガニスタン駐日大使が 著書『アジアの二つの日出ずる国』を寄贈

11月にハルン・アミン アフガニスタン駐日大使より著書『Afghan-Japan Relations: LANDS UNDER THE RISING SUN (邦題：アジアの二つの日出ずる国～アフガニスタンと日本の関係～)』(2007年/在京アフガニスタン大使館 発行)を贈呈いただきました。大使はこの著書で日本とアフガニスタンの歴史的、文化的共通点を述べていますが、新渡戸稲造の著書『BUSHIDO』について触れ、「高潔さ」を保つことが“武士道”を守る決め手であるとして、アフガニスタン人戦士「アイヤーラン」の精神と“武士道”に様々な類似性を見ることができると論じています。

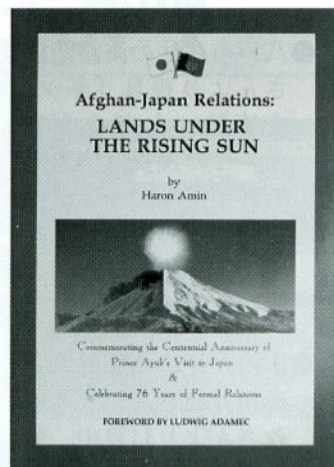
著書の執筆にあたって、大使は館長代理より『BUSHIDO』の寄贈を受け、そのことから著書に為書きを書いて贈呈下さいました。また著書冒頭の「謝辞」の部分では、協力者の一人としてアフガニスタン大使館の秘書を勤めた館長代理夫人富恵さんの名前を紹介しています。

『BUSHIDO』をいただいたことが、真の日本精神を学ぶきっかけとなった」と館長代理宛為書きにあるように、大使は『BUSHIDO』を通じて更に日本文化への造詣を深められ、著書にも「武士道」を理解すること無しには真に日本を理解することはできない」と書かれています。



### ハルン・アミン アフガニスタン駐日大使

アフガニスタン・カブール生まれ。1980年ソヴィエト軍侵攻から難を逃れ最終的にアメリカに移住。'88年アフガニスタンに帰国し、師であるマスード将軍の下、母国の自由のために戦う。'90年アフガニスタン政府代表として米国着任。'95年アフガニスタンに帰国し'96年9月のカブール崩壊まで、再びマスード師の下で活動する傍ら外交に従事。'97年同国外務省大臣室の首席補佐官として勤務。'98年アフガニスタンの国連代表部で様々な役職に就く。2002年駐米アフガニスタン大使館次席公使就任。'03年駐米 アフガニスタン大使館臨時代理大使就任。'04年駐日アフガニスタン大使館特命全権大使就任。米国ニューヨーク セント・ジョーンズ大学で政治学修士号取得。



▲『アジアの二つの日出ずる国～アフガニスタンと日本の関係～』(アフガニスタン駐日大使 ハルン・アミン 著)邦訳も収録されている。

To Nikkei san whose gift of "Bushido" by Keigo Nishikida educated me about the true Japanese soul,  
I'm not like,  
Harun Amin

▲大使直筆の館長代理宛為書き。館長代理から『BUSHIDO』を贈られたことについての謝辞が述べられている。

To the library of Masajo Arita, a true humanist and an educator, whose legacy I hope will continue to be celebrated by the new Japanese generation.  
I'm not,  
Harun Amin

▲同じく記念館宛為書き。「真の官僚であり教育者であった新渡戸の遺業が日本の若い世代によって称え続けられますように」とある。この著書は展示予定ですので興味のある方は記念館へどうぞ。

## 高野山金剛峯寺座主・松長有慶大僧正が来館

故・村木市太郎さんのご子息である千葉県在住の一級建築士・村木知仁さんのご案内で、9月28日(火)高野山真言宗総本山金剛峯寺第412世座主・松長有慶大僧正ほか12名が来館されました。松長大僧正は館長の解説で熱心に見学され、特に新渡戸稲造が私費で設立した遠友夜学校の入学案内に興味を示されていました。松長大僧正は「ここに書かれていることは空海が綜芸種智院を開設した趣旨と合致する」と話され、稲造が東京女子経済専門学校の校長時代に定めた“教職員心得”についても「生きた言葉だ」と深く感銘を受けられていました。



▲松長大僧正(右から四番目)とともに

### トピックス

## 館長代理が執筆した「ルーマニアを知るための60章」発刊

音楽学博士・音楽評論家としても活躍する新渡戸常憲館長代理が音楽についてのコラムを執筆した『エリアスタディーズ66 ルーマニアを知るための60章』(六鹿茂夫 編著/明石書店 発行)が10月に発刊されました。本書は各分野におけるルーマニアの専門家19人による日本初のルーマニア概説書で、館長代理はルーマニア・クラシック音楽の専門家として執筆しています。

こうした音楽分野を中心とした多岐にわたる館長代理の活動を、今後記念館の企画イベント等で生かして行ければと考えています。お楽しみに！





### ありがとうございました

- 八戸市在住の淡路治雄さんより民具「キツ」を寄贈いただきました。この民具は楕円形のお櫃で、魚の塩漬け等を作るものです。段ノ台で稲生川の水門を守る久保田昌弘さんから淡路さんが譲り受けたものとのことです。
- 市内在住の菊愛好家・瀬川安雄さん、大久保孜さんより11月中、菊の鉢植え10鉢を記念館入り口に出品していただきました。
- 太素塚近くに住む石川原光雄さんに本年も一年を通して太素塚の美化ボランティアとして活動いただきました。



▲寄贈いただいたキツ



▲記念館入り口を美しく飾った菊

ミニコンサートを行ったチェロ奏者アダルベルト・スコッチさんと五所川原市出身のピアニスト菅野美奈さん一行が6日(火)、当館に来館されました。スコッチさんはウーンフィルハーモニーの元首席チェリストで、現在はウーン音楽大学教授を務めるとともに世界各地で演奏活動を行っています。音楽評論家である館長代理と菅野さんの親交のご縁や、中央病院蘆野吉和院長ご夫妻のご理解によりこのコンサートが実現し、お二人はボランティアで演奏して下さいました。



▲チェロ奏者アダルベルト・スコッチさんとピアニスト菅野美奈さんとともに

### 関連情報

### 活動報告

- ◆太素塚清掃奉仕  
9月2日(日)・9月20日(木)・10月7日(日)・11月4日(日)  
さわやかクラブ様  
9月20日(木) 大学通り老成会様  
11月18日(日) 十和田稲生ライオンズクラブ様  
ありがとうございました

- ◆館長・館長代理講演会  
10月4日(木)平成19年度上十三地区母子寡婦福祉会学習交流会で館長講演(十和田市民文化センター)  
10月5日(金)十和田市倫理法人会 第380回経営者モーニングセミナーで館長代理講演(和幸ホテル)  
10月25日(木)青森銀行青年経営者会議 第2回勉強会・音楽講座で館長代理講演(しもやま旅館)

- ◆平成18年12月1日～19年11月30日来館小学校  
<十和田市>大不動小学校/米田小学校/三本木小学校/深持小学校/法奥小学校/藤坂小学校/北園小学校/沢田小学校/西小学校<八戸市>白鷗小学校/白銀南小学校/八戸小学校/小中野小学校/高館小学校/城下小学校/下長小学校/鮫小学校/新井田小学校/柏崎小学校/桔梗野小学校<五戸町>切谷内小学校/上市川小学校/五戸小学校/南小学校<東北町>第一小学校/蛭沢小学校<野辺地町>馬門小学校<六戸町>折茂小学校/大曲小学校/開知小学校/六戸小学校<七戸町>七戸小学校<おいらせ町>甲洋小学校<三沢市>三川目小学校<新郷村>川代小学校<南部町>南部小学校

- ◆日本博物館協会東北支部大会、第55回全国博物館大会に館長代理出席  
11月15日(木)・16日(金)に新潟県長岡市で開催された第55回全国博物館大会に館長代理が出席しました。「新しい時代における博物館制度の在り方」をテーマにしたシンポジウムの後、パネルディスカッションでは「博物館における地震等の災害への対応と対策」について活発な議論が交わされました。

- ◆世界的チェロ奏者・スコッチさん一行が来館  
11月5日(月) 十和田市立中央病院大ホールで無料の

- ◆新渡戸稲造博士命日前夜祭に館長代理出席  
10月12日(金)新渡戸稲造博士生誕の地・盛岡市で新渡戸稲造博士命日前夜祭(主催:新渡戸稲造博士命日前夜祭実行委員会/会場:盛岡グランドホテル)が開催され、当館から館長代理が出席しました。

#### <編集後記>

まだ落葉しない紅葉に雪が積もり、風情ある風景となっているものの、急激な寒さに身体がついていくのがやっつです。一年というものはあっという間に過ぎ行くものです。雪害を考えると頭も痛くなるけれど、冬はやっぱり雪景色に限ります。元朝参りは風情ある「雪の太素塚」にどうぞお越し下さい。

(館長代理 新渡戸常憲)

発行 太素顕彰会  
十和田市立新渡戸記念館  
☎034-0031 青森県十和田市東三番町24-1  
TEL (FAX) 0176-23-4430  
E-mail: nitobemm@hi-net.ne.jp  
http://www.towada.or.jp/nitobe/  
印刷 株式会社 岩間印刷